

分析から改善の手がかりを掴む

財務分析入門講座

財務シリーズ(3)

研修のねらい

昨今の変化の激しい経営環境の中で、経営幹部・管理者には、自社の経営実態を正しく把握し、適時適切に対応する力が求められています。自社の経営を把握するため手法は複数ありますが、その中でも基本となるのが財務分析です。

本研修では、利益と資金の視点で財務分析について学んだ上で、演習を通して「収益力」と「資金繰り」の面から経営を定量的に把握する手法を身につけます。また、自社の決算書の分析に取り組み、自社の特徴と問題を掴み、改善策を検討します。

※必ず自社の決算書を3期分ご持参ください。

研修のポイント

- ✓ 財務を実際の企業活動と結びつけて学びます。
- ✓ 財務諸表から経営内容を把握する手法を学びます。
- ✓ 財務諸表から自社の問題点を把握する方法を学びます。

研修期間

2024年 1/29 月 ~ 31 水
全3日間 (21時間)

対象者

経営幹部・管理者等

- ・財務における資金繰りの視点を学びたい方
- ・決算書から自社課題を読み取れるようになりたい方
- ・財務分析に自社で取り組みたい方

定員 20名

受講料 32,000円(税込)

※宿泊費は含まれません。
※お申し込みが多数の場合、定員を変更させていただく場合がございます。

会場

中小企業大学校仙台校

(宮城県仙台市青葉区落合4-2-5)

月日	時間	科目	内容
1/29 月	9:30-17:30	財務分析の基本的視点	財務分析の考え方の基本を理解した上で、具体的な分析の仕方を学びます。 ・財務分析とは ・経営課題の仮説を立てる ・[利益] (=収益力÷P/L (損益計算書)) の視点 ・[資金] (=資金繰り÷B/S (貸借対照表)) の視点
		収益力の検証 (P/Lからのアプローチ)	収益力の視点から財務分析の進め方を演習を交えて学びます。 ・収益力の分析 ・P/Lを用いた経営実態の検証と改善アプローチ ・損益分岐点分析 ・変動損益計算書の見方とつくり方
1/30 火	9:30-17:30	資金繰りの検証 (B/Sからのアプローチ)	資金繰りの視点からの財務分析の進め方を演習を交えて学びます。 ・資金繰りの分析 ・ストーリー性を持った仮説を導き出すピジュアル分析 ・B/Sを用いた経営実態の検証と改善アプローチ ・横山式キャッシュフロー計算書でキャッシュの増減理由を探る
1/31 水	9:00-17:00	自社分析の実践 (演習)	自社の決算書を用いて、実際にPC等を使用して財務分析を行い、自社の経営課題の洗い出しに取り組みます。 ・財務分析による自社の経営実態の把握 ・経営課題の抽出と財務の視点からの改善策の検討
		終講式	

※昼食休憩は各日1時間です。

※カリキュラムにつきましては、一部変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師紹介 (敬称略)

財務リスク研究所株式会社 代表取締役

横山 悟一 (よこやま ごいち)

1969年茨城県生まれ。法政大学卒業。会計事務所、コンサルティング会社等の勤務を経て、2002年アーネストコンサルティングを開業。2008年6月、名称を『財務リスク研究所』に変更。決算書の格付け事業を中心に、与信管理のアウトソーシングや経営指導を行なっている。分析した決算書はすでに6,000社を超えており、「決算書が読める感動をすべての人に」という理念のもと、初心者立場に立ったわかりやすい研修や企業支援活動が高い評価を得ている。